

講義名	中国語 A		
科目区分	グローバル		
担当教員	森 宏子		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1 年生	単位数	2
		講義コード	13002

主題と概要

この授業では中国語の基礎を学びます。中国語はよく「発音よければ半ばよし」と言われます。発音が命といっても過言ではありません。中国語学習の最初の目標は、正しく発音ができ、聞き取れ、ピンイン（中国語音のローマ字表記）がきちんと読めることです。私たち日本人にとって中国語学習は、漢字を理解できることが大きなメリットですが、逆にデメリットになることもあります。たとえば、漢字を見るとなんとなく中国語を理解した気分になり、発音を大事にしないということがよく見られます。それでは中国語を真にマスターすることはできません。中国語を音でキャッチし、理解できるようになりたいものです。テキストでは基本的に活用度の高い表現を学びます。半年の学習でも、けっこう使える言い回しを学ぶことができます。本学には中国からの留学生がたくさん在籍しており、中国語がいつでも使える恵まれた環境にあります。学んだ中国語をどんどん使って、留学生と積極的に交流してほしいと思います。

到達目標

1. 中国語学習を進めていく上での基礎的知識（発音、ピンイン表記）を身につける
2. 基本的な中国語を聞き、質問や状況に応じた応答ができる
3. 基本的な文の意味を理解でき、書くことができる

提出課題

必要に応じて課題提出を求めることがあります。

評価の基準

次の点を総合的に評価します。
 1. 授業態度 30%
 2. 中間テスト・期末テスト 70%

履修にあたっての注意・助言他

外国語の授業は実践的なものなので活発な取り組みを期待します。授業中の積極的な態度は大いに評価します。最近はスマホを操作している人が見られますが、そのような消極的な授業態度は大きなマイナスポイントとなります。テキストは必ず用意すること。

教科書

はじめよう楽々中国語	小林和代・韓軍	白水社	2200円 + 税	ISBN978 4

プリント資料及び参考文献

必要に応じて配布します。

授業計画

1. 第1課 単母音・声調・子音・軽声
2. 第2課 複合母音・鼻母音・発音のまとめ
3. 第3課 何月何日・何時
4. 第4課 お名前は・どちらの大学
5. 第5課 だれ？なに？・これは～です
6. 第6課 いる・ある
7. 第3課～第6課のまとめ
8. 中間試験
9. 第7 課 どこにいる・AそれともB
10. 第8 課 どれくらいかかる・～するのが好きです
11. 第9 課 いくら・Aよりも～です
12. 第10課 ～したい・どこで
13. 第11課 ～できる・～していい
14. 第12課 ～している・～したことがある
15. 第7課～第12課のまとめ
授業の進度はクラスの状況に合わせて適宜調整します

予習・復習

外国語学習は積み上げ方式なので、授業内容を毎回しっかり理解しなければ、それ以降の学習に影響します。ちょっとしたつづきが元で、授業がつまらなくなったり、苦痛に感じるようになります。最低限、前回学んだ内容を復習し、次の授業に臨むことが求められます。特に単語は毎回しっかり覚えていきましょう。翌週の授業で、単語テストを実施することがあります。

備考